



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社東栄リーフアーライン 上場取引所 東
 コード番号 9133 URL <http://www.toeireefer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本田 英樹 TEL 03-5476-2085
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,842	4.5	61	△38.5	101	23.9	111	281.2
29年3月期第2四半期	3,676	21.9	100	45.3	82	△14.5	29	△67.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 169百万円 (ー%) 29年3月期第2四半期 △3百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	20.19	ー
29年3月期第2四半期	5.11	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	12,175	4,899	40.2	885.17
29年3月期	11,845	4,796	40.4	866.59

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,899百万円 29年3月期 4,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	12.00	12.00
30年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	3.9	600	△3.0	600	△7.6	400	△11.9	72.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	6,050,000株	29年3月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	514,757株	29年3月期	514,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,535,243株	29年3月期2Q	5,732,101株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(2) 四半期連結貸借対照表	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなか、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高38億4千2百万円（前期比1億6千6百万円4.5%増）、営業利益6千1百万円（前期比3千8百万円38.5%減）、経常利益はおもに受取利息増大により1億1百万円（前期比1千9百万円23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千1百万円（前期比8千2百万円281.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の増加につきましては、税金費用が減少したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

(百万円)	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減率(%)
売上高	3,676	3,842	4.5
営業利益	100	61	△38.5
経常利益	82	101	23.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	29	111	281.2

また、主なセグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減率 (%)
海運事業	売上高	1,492	1,420	△4.8
	セグメント利益	143	113	△21.2
貿易事業	売上高	1,321	1,551	17.4
	セグメント利益	65	103	59.0
洋上給油事業	売上高	588	595	1.1
	セグメント利益	41	34	△15.6
船舶貸渡事業	売上高	273	275	0.7
	セグメント利益	1	△29	-

① 海運事業

海運事業につきましては、全海域での漁獲量減少ならびに競合他社運搬船増隻の影響を受け、各運搬船の予定航海日数伸長による運航コスト増大により、前年同期と比べ減収減益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、餌料販売が台湾子会社においても増大したことに加え、冷凍まぐろ入荷量減少による魚価高騰を受けて委託販売手数料収入増大が寄与し、前年同期と比べ増収増益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、原油価格上昇を受けた販売単価引き上げにより前年同期と比べ増収となったものの、販売数量減少により減益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、売上高は前年同期と比べ増収となったものの、配船航路変更に伴う一時的な費用増大に加えて管理費全体のコスト増加などにより、前年同期と比べ減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億3千万円増加し、121億7千5百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億1千4百万円増加し、58億5千6百万円となりました。これは、現金及び預金3億6千2百万円、受取手形・海運業未収金及び売掛金3千万円などが減少したものの、短期貸付金11億6千1百万円、原材料及び貯蔵品4千4百万円が増加したことなどによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億8千4百万円減少し、63億1千9百万円となりました。これは、船舶が減価償却費により2億7千8百万円、長期貸付金2億8千万円が減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億2千7百万円増加し、72億7千6百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ11億5千7百万円増加し、40億2千3百万円となりました。これは、海運業未払金及び買掛金5千2百万円、未払法人税等1億5千4百万円、賞与引当金6千万円などが減少したものの、短期借入金11億2百万円、その他に含まれる預り金3億9千6百万円が増加したことなどによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ9億2千9百万円減少し、32億5千3百万円となりました。これは、長期借入金9億5千1百万円が減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、48億9千9百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益4千7百万円が増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.2ポイント減少し40.2%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億6千3百万円減少し、14億1百万円となりました。

その内訳としましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、賞与引当金の減少△6千万円、法人税等の支払額△1億5千3百万円などにより減少したものの、現金支出を伴わない減価償却費2億8千7百万円及びその他に含まれる預り金3億9千4百万円が増加したことなどにより、4億8千7百万円（前年同期は17億3千1百万円）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の回収による収入12億8千7百万円などがあったものの、貸付けによる支出△21億6千9百万円があったことなどにより、△9億2千2百万円（前年同期は△4億5百万円）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出△5億9千8百万円、配当金による支出△6千6百万円などがあったものの、短期借入金による収入5億円、長期借入れによる収入2億5千万円があったことなどにより、7千4百万円（前年同期は△7億1千1百万円）となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間につきましては、上半期に入渠を予定していた2隻の修繕ドックが下半期にスケジュール変更となったこと、売上高においては貿易事業での餌販売伸張、また受取利息増大、税金費用の減少などにより売上高・利益ともに修正いたします。

なお、平成30年3月期通期（連結・個別）の業績予想につきましては、2隻の修繕費が下期に計上されること、海運事業の集荷活動が下期についても引き続き苦戦状況が予想されることなどから、平成29年5月11日に公表した数値の変更はありません。

配当予想につきましては、当社は平成29年11月8日開催の取締役会において、本日別途公表の「MB0の実施及び応募の推奨に関するお知らせ」に記載しました株式会社オーシャンによる当社の普通株式に対する公開買付けが成立することを条件に、平成30年3月期の配当予想を修正し、平成30年3月期の期末配当を行わないことを決議いたしました。仔細につきましては、「平成30年3月期の期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
海運業収益	1,766,598	1,696,345
海運業費用	1,495,307	1,484,603
海運業利益	271,290	211,742
貿易業収益	1,321,007	1,551,443
貿易業費用	1,205,046	1,396,239
貿易業利益	115,961	155,204
洋上給油事業収益	588,554	595,089
洋上給油事業費用	546,264	555,840
洋上給油事業利益	42,289	39,249
売上総利益	429,541	406,195
販売費及び一般管理費	329,237	344,534
営業利益	100,304	61,660
営業外収益		
受取利息	38,872	70,162
受取配当金	1,569	1,340
その他	5,336	670
営業外収益合計	45,778	72,172
営業外費用		
支払利息	25,426	22,634
為替差損	31,457	4,955
その他	6,980	4,364
営業外費用合計	63,864	31,955
経常利益	82,217	101,877
特別利益		
固定資産売却益	—	853
特別利益合計	—	853
税金等調整前四半期純利益	82,217	102,731
法人税、住民税及び事業税	27,374	12,231
法人税等調整額	25,522	△21,287
法人税等合計	52,896	△9,056
四半期純利益	29,321	111,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,321	111,787

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	29,321	111,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,177	9,434
繰延ヘッジ損益	△17,437	47,669
為替換算調整勘定	△6,975	336
その他の包括利益合計	△32,591	57,439
四半期包括利益	△3,270	169,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,270	169,226
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（2）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,876,928	1,514,356
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,177,199	1,146,567
短期貸付金	568,000	1,729,780
商品及び製品	53,832	34,754
原材料及び貯蔵品	223,749	268,486
その他	1,143,040	1,164,224
貸倒引当金	△1,272	△1,758
流動資産合計	5,041,479	5,856,412
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	4,475,175	4,196,779
建設仮勘定	238,335	275,947
その他（純額）	10,890	9,274
有形固定資産合計	4,724,401	4,482,001
無形固定資産	16,445	9,793
投資その他の資産		
長期貸付金	1,796,704	1,516,192
その他	267,323	312,338
貸倒引当金	△988	△862
投資その他の資産合計	2,063,039	1,827,668
固定資産合計	6,803,887	6,319,464
資産合計	11,845,366	12,175,876

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	634,055	581,275
短期借入金	1,164,804	2,267,280
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	166,606	12,085
賞与引当金	96,076	35,821
役員賞与引当金	64,000	—
その他	720,227	1,116,541
流動負債合計	2,865,770	4,023,004
固定負債		
長期借入金	3,888,315	2,936,871
特別修繕引当金	83,768	115,736
退職給付に係る負債	147,653	138,128
その他	63,019	62,494
固定負債合計	4,182,756	3,253,229
負債合計	7,048,526	7,276,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	890,000	890,000
資本剰余金	961,593	961,593
利益剰余金	3,054,030	3,099,394
自己株式	△133,331	△133,331
株主資本合計	4,772,291	4,817,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,047	51,481
繰延ヘッジ損益	△29,347	18,321
為替換算調整勘定	11,848	12,184
その他の包括利益累計額合計	24,547	81,986
純資産合計	4,796,839	4,899,642
負債純資産合計	11,845,366	12,175,876

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,217	102,731
減価償却費	296,537	287,283
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,199	360
賞与引当金の増減額（△は減少）	△43,394	△60,255
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△40,000	△64,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	816	△9,525
特別修繕引当金の増減額（△は減少）	26,155	31,967
受取利息及び受取配当金	△40,441	△71,502
支払利息	25,426	22,634
固定資産売却損益（△は益）	—	△853
デリバティブ評価損益（△は益）	△3,907	—
為替差損益（△は益）	35,201	1,862
売上債権の増減額（△は増加）	228,048	30,631
たな卸資産の増減額（△は増加）	411,195	△25,659
仕入債務の増減額（△は減少）	△47,608	△53,888
その他	736,736	424,829
小計	1,669,183	616,616
利息及び配当金の受取額	35,642	46,862
利息の支払額	△24,348	△22,742
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	51,002	△153,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,731,479	487,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,721	△37,466
貸付けによる支出	△1,301,000	△2,169,189
貸付金の回収による収入	916,943	1,287,921
その他	△4,182	△4,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405,960	△922,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	—	500,000
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△638,212	△598,968
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△84,150	0
配当金の支払額	△69,631	△66,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,993	74,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41,902	△2,070
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	571,622	△363,112
現金及び現金同等物の期首残高	2,319,415	1,764,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,891,038	1,401,626

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,492,906	1,321,007	588,554	273,691	3,676,160	—	3,676,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,492,906	1,321,007	588,554	273,691	3,676,160	—	3,676,160
セグメント利益	143,930	65,159	41,461	1,491	252,042	△151,738	100,304

(注) 1. セグメント利益の調整額△151,738千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,038千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,420,645	1,551,443	595,089	275,699	3,842,878	—	3,842,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,420,645	1,551,443	595,089	275,699	3,842,878	—	3,842,878
セグメント利益 又は損失 (△)	113,380	103,636	34,974	△29,628	222,362	△160,701	61,660

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△160,701千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,001千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。